

事務事業評価シート(浜田市作成分)～令和6年度実施事業～

■事業の位置づけ（基本事項）			担当課 係		まちづくり社会教育課公共交通係
事務事業名	高校生通学定期券助成事業		事業予算費目（一般会計）		
総合計画 の位置づけ	大綱	V生活基盤が整った快適に暮らせるまち	款	02	総務費
	施策大綱	V-2 公共交通の充実	項	01	総務管理費
	基本目標	4 地域の特性を活かした安心して暮らせるはまだづくり	目	07	企画費
	主要施策	V-2-3 利用しやすい交通環境の整備	事業	93	高校生通学定期券助成事業

■事務事業の概要（PLAN）

事業の目的	県内の高等学校に通学する生徒の保護者に対し、その費用の一部を補助することにより、保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、公共交通機関の利用の促進に資することを目的とする。	事業の内容	通学定期券1か月分の購入額から、往復定期券は概ね10,000円、片道定期券は概ね5,500円、JRの定期券（JRのみ利用の場合）は5,000円を差し引いた額を補助
市民ニーズの把握状況	令和4年度に開催された「地域の日」において、高校生の通学に関して、市外の高校へ通う生徒に対する支援や経済的負担軽減を求める声を反映し制度を令和5年度に改正した。	市民参加・協働の有無 その内容	事業の活用促進のため、市内の県立高校に制度説明し、高校側から通学生へ事業活用について周知を行った。

■事務事業の業績・推移（D0）

目標と実績	設定した目標			目標/実績	目標/実績	目標	目標			
				R5	R6	R7	R8			
	制度拡充により、より広く保護者の経済的負担の軽減を図るため、50人を目標に設定した。		目標	50人	50人	50人	50人			
	設定した理由・背景		実績	58人	71人					
令和4年度時点で実績値が10人であった。市内中学校の生徒で進学者の数を調査し、拡充により対象者数が増となることから、50人に目標を設定した。										
			R5年度決算		R6年度最終予算		R7年度予算		市民1人当たりのコスト	
事業費	総事業費		1,742,000	2,456,000	3,000,000	R5	35			
	財源内訳	国県支出金				R6	50			
		地方債				各年度4月1日時点の人口				
		利用者負担・その他	1,742,000	2,456,000	3,000,000	R5	50,129			
		一般財源				R6	49,096			

■評価（CHECK）

事業実施・実績に対する意見や評価など	制度拡充の効果で、改正前の申請件数から大きく増となる結果で推移していることから、市民のニーズに合った制度であると評価はしている。 しかし、補助対象とならない県内高等学校や近距離からの通学定期についても対象としてほしいとの意見がある。
--------------------	---

■改善・効率化の方向性（ACTION）

令和7年度執行に向けた工夫点 今後の課題など	より多くの補助金活用をしていただくため、市内の高校にチラシを配布し、学校から保護者に周知をするようにした。 補助金交付事務上の課題は、遠方から通学する場合、通学定期券が高額になることから1か月単位で購入する方もおられ、都度申請を行うことで事務量も増えるが、利用する市民の申請手間も増える状況となっている。
---------------------------	---